第２学年　技術・家庭科家庭分野　学習の指針（シラバス）

１　学習の目的（教科の目標）

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　家族・家庭の機能について理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

⑵　家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなど，これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

⑶　自分と家族，家庭生活と地域との関わりを考え，家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

２　学習計画

	学　習　内　容	学 習 の ね ら い
１学期	①1 年を見越した「家庭科ガイダンス」 ②食生活と自立 ・健康と食生活 ・食品の選択と保存 ・調理をしよう	・自立した生活を身につける意識を付けるために学習内容と目標を立て、意識付けする。 ・食事の役割について考え、食品と栄養素や望ましい生活習慣、中学生に必要な栄養について理解する。 ・食品の表示や特徴を理解し、食品の選択方法や保存方法を身につける。 ・安全や衛生に注意しながら調理技術を習得する。
２学期	②食生活と自立 ・調理をしよう ・地域の食材と食文化 ③身近な消費生活と環境 ・家庭生活と消費 ・商品の選択と購入 ・よりよい消費生活のために ・環境に配慮した消費生活	・安全や衛生に注意しながら、調理技術を習得する。 ・地域の食材と郷土料理について知り、食文化を理解する。 ・購入方法や支払い方法、契約について理解する。 ・消費者として、適切な消費方法を考え、実践する。 ・商品がどのように作られているか理解し、持続可能な社会を意識した消費行動を考え、実践する。

３　評　価

観　　点	評 価 の 内 容	評 価 の 方 法
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	定期テスト・ワークシート、学習ノート、作品等で評価します。
思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、実践を評価・改善、考察して課題を解決する力をみにつけている。	定期テスト・ワークシート、学習ノート、作品等で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシート、学習ノート、作品、授業の振り返り等で評価します。

上記に示した３つの観点から総合的に評価し，成績とする。

４　学力向上のためのアドバイス

・家庭科の学習は、家庭生活や家庭生活を取り巻く社会に目を向けることが学習のスタートです。自分の生活を見つめ、これからの生き方を考え、生活をよりよくするために、何ができるか、共に考えていきましょう。